

整理番号：7-3

提言題名：市民会館・福祉会館の高層化等について

【提言の要旨】

市民会館の改装に伴う高層化について。利根川の氾濫時における一時避難所及び観測所，展望所としての高層化。福祉会館の夜間サーチライト施設について，LED化の時代にて，使用電気代に伴う用途が不明である。同様の電力を浪費するなら，土手下の照明を充実させ，防犯効果アップ及びJR常磐線からの風景も美化できると思う。もっと，茨城県の「入口」である取手市として「玄関口」を整備すべき。国道6号については，何の施策もないと思う。

(50代 男性 平成30年5月受付)

【回答の要旨】

取手市民会館は，取手市民の文化的シンボルとして昭和47年に建設されました。開館後45年が経過し，老朽化も進んでいることから，平成30年度は，耐震補強，大規模改修工事を予定しております。今年度実施する予定の工事内容は，昨年度実施しました設計業務の中で，内容の検討をし，今年度の入札も終わっていることから，高層化等を実施することは難しいと考えております。現時点ではこのような事業を行う予定や計画はございませんが，今後，事業を実施する際には，地域の意向把握に努めていきたいと考えています。

さらに，市民会館の一時避難所の指定のお問い合わせですが，近くに屋内避難スペースが確保できる取手小学校があることから，市民会館は，一時的な避難所の指定はされておられませんので，取手小学校を利用させていただきますようご案内しております。

また，福祉会館上からのサーチライトは，イベント終了後，河川敷駐車場を利用する皆様に対し設置するものです。より安全を確保するために，昨年度移動型LED照明装置を増設し，イベントごとに，利用される方々の足元を照らすようにしております。土手下の河川敷地域への固定型のLED照明装置の設置については，河川法によって，難しいところです。

最後になりましたが，市としても，取手市の玄関口の整備は，重要であると考えておりますので，市の施策に，ご理解ご協力のほど，よろしくお願いたします。

(文化芸術課 平成30年5月回答)